

2025

1.22 (水)

12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_uPwmiw0zR4eWZpehhKGreA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_uPwmiw0zR4eWZpehhKGreA)

【技術支援】九州大学 Q-AOS

# 異文化間臨床心理学の視点で考える 留学生教育



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナシップで目標を達成しよう

## Key Words

留学生

国際化

多文化共生

**黄正国** 准教授

九州大学 留学センター

中国東北部で生まれ、2003年に留学生として来日しました。2014年3月に広島大学で心理学博士号を取得しました。大学院時代には、がん患者への心理的介入を主な研究テーマとして取り組む傍ら、非常勤として複数の医療機関の小児科、精神科、神経外科で臨床心理士として勤務しました。2015年以降は、大学生を対象とした学生相談の研究と実践に焦点を移し、現在は九州大学留学生センターの准教授として、留学生を対象とした心理相談や異文化間臨床心理学の研究と実践に従事しています。

九州大学では、教育の国際化に向けてさまざまな取り組みを進めてきました。例えば、英語のみで学位を取得できるプログラムの設置、英語で行われる授業科目の拡充、さらに日本人学生に対する海外留学機会の提供などが挙げられます。これらの取り組みにより、学内の留学生数が増加するとともに、日本人学生の海外留学者数も着実に増加しています。しかし、こうした人的交流の活発化や多様性の進展に伴い、学部教育の実践や大学院での研究指導に新たな課題が生じているのも事実です。特に、多文化が共存する学術環境では、異なる言語や文化的背景を持つ学生や教職員同士の交流の中で、誤解や対立が生じることが少なくありません。本発表では、異文化臨床心理学の視点からこれらの課題を検討します。また、留学生支援の実践の中で経験した具体的な事例を紹介し、留学生教育における一般的な誤解を考察するとともに、効果的な異文化間コミュニケーションを促進するための実践的な方策を提案します。